

日立物流グループの価値創造プロセス

日立物流グループの価値創造を実現するビジネスモデルは、グループのあり方と進むべき道を示したHB WAYを全ての価値の源泉とし、お客様のサプライチェーンの課題分析、運営設計、運営、改善というバリューチェーンとそれを支える仕組みである協創、R&D、人財育成、VC21活動から成り立っています。

強みである「オペレーション遂行力」「先進的なロジスティクスエンジニアリング力」「グローバルネットワーク」をドライバーとして、バリューチェーンをより強固なものとし、ステークホルダーに対し経済価値、社会価値、環境価値を持続的に創出します。また、持続的な企業価値向上を通してSDGsにも貢献していきます。

持続的な成長のために
重点的に取り組むSDGs
(持続可能な開発目標)



→ P75-78



外部環境

- 日本国内の労働・消費人口の減少
- 保護主義の台頭・貿易摩擦の深刻化
- 甚大な災害、世界的な感染症拡大の発生
- デジタル技術(5G・IoT・AI等)の進展
- 気候変動リスクの増大、大規模自然災害の増加
- 地政学的リスクの増大
- EC市場の拡大
- 物流事業の環境変化

※1 事業拠点・物流センター面積は、エアアティーグループ、HTB-BCDトラベルグループを除く ※2 自社開発システム ※3 モーダルシフト、エコカーの利用、ダブル連結トラックの導入、施設共同利用など ※4 高度なデータ解析スキルを持つデータサイエンティストの社内育成講座受講者数 ※5 Robotic Process Automation ※6 従業員エンゲージメントサーベイにおける好意的回答の合計スコア ※7 「月刊ロジスティクス・ビジネス」より当社にて算出